

毎日の保育をもっとHappyに!

2022

5



「Pot指導計画」
6月の計画のヒント



ポット



行事特集

気持ちも届ける
ファミリーデー
ギフト



大豆生田 啓友先生



大特集

さあ 始めよう!

保育ドキュメンテーション きほんの“き”



季節のシアター

「わにくんの歯磨き」

ニコニコ

0・1・2歳児

生活 あそび 保護者



Pot プチ特集

相手を知って向き合おう
保護者対応 Q&A

前月末の子どもの姿

気持ちのよい気候のなか、体を動かす心地よさを感じながら、5歳児としての活動に取り組み、進級したことや大きくなったことを実感している様子がかがえた。
新しい活動にうれしさや意欲をもって取り組んでいたが、やや疲れが見られる子もいた。

経験する内容

- 梅雨期の健康について考え、手洗いやうがい、水分補給などを進んでしようとする。
- 歯の大切さを知り、歯みがきの習慣を見直して、歯の衛生に気をつける。
- 生活のなかで時間の大切さに気づき、自分から時間を守るようにする。
- 友達や保育者と夏の遊びに親しむ。
- 縦割り保育を通して、年下の子に対する思いやりの気持ちをもつ。
- 梅雨期の天気や動植物に興味をもち、見たり触れたり、調べたりする。
- 夏野菜の成長を喜びとともに、収穫に向けての期待を膨らませる。
- 友達の考えに興味をもって聞こうとしたり、自分の思いを相手に聞いてもらえた喜びを感じたりする。
- 知っている文字で言葉遊びをしたり、数に親しみをもったりする。
- 友達といっしょに、季節の歌をうたうことを楽しむ。
- みんなでイメージを膨らませたり工夫したりして、作っていく楽しさを味わう。



環境構成のポイント

- 水分補給の大切さを知らせ、水筒の扱い方を確認する。
- 歯みがきの意識づけができるよう、水道周りにポスターを貼る。
- 生活のなかで時間を意識しながら過ごせるよう、事前に時間を知らせたり、時間の感覚が感じられるような言葉をかけたりしていく。
- プール内や周りの安全確認をするともに、指導者と監視者の確認を毎回徹底し、水遊び管理表に水温や塩素濃度を記入して記録に残す。
- 安心して参加できるような楽しい雰囲気、環境を作る。
- 子どもたちが見やすく触れやすい場所に、動植物を配置する。
- 動植物や梅雨など、自然に関わる絵本や図鑑を本棚に用意する。
- 朝の会などで具体的な場面を提示し、どのように相手に伝えるといいのか、いっしょに考える場を作る。
- 季節感のある歌や親しみやすい歌を選曲する。
- 見本を作って展示することで、作り始める前にイメージがわくようにする。また、自分で考える力がつくように、さまざまな素材を用意する。



ねらい

- 健康的な生活のしかたがわかり、自分でしようとする。
- さまざまな人との関わりを通して、いっしょに過ごす楽しさを感じ、思いやりの気持ちをもつ。
- 自然や動植物への関心を高め、遊びに取り入れる。
- 友達との関わりを広げ、イメージを共有して楽しむ。

行事

- ★衣替え ★時の記念日 ★父の日
- ★園庭開放 ★プール開き
- ★なかよし保育 (地域の人や小学生と園児で交流活動)
- ★歯科健診 ★個別懇談会 ★誕生会
- ★身体測定 ★避難訓練

ねらいに即した活動予定

- 水分補給・汗を拭く
- 手洗い・消毒
- 食後の歯みがき
- キッズビクス
- 運動遊び (ボール、マット他)
- プール遊び (だるま浮き、蹴伸び)
- 泥んこ&色水遊び、泥だんご作り
- 縦割り保育「はじめまして」
- 図鑑調べ (動植物の名前や生態)
- 夏野菜の世話や観察 (当番活動、観察画)
- トマト狩り
- 戸外遊び (ハンターおにごっこ、宝探し)
- 室内遊び
- 集団遊び (帽子取り、増えおに)
- 英語で遊ば
- 文字遊び
- 歌「あめふりくまのこ」「にじ」
- 父の日のプレゼント作り
- 腕時計作り



援助および配慮のポイント

- 歯みがきのしかたを確認し、ていねいにみがけるように声をかけていく。
- 虫歯になりやすい食べ物や、歯を丈夫にする食べ物なども理解できるようにする。
- 個々に合わせて、適切な水分補給ができるように見守る。
- 水が苦手な子は、無理のないように少しずつ進めていき、それぞれに目標を作って取り組むことでより楽しめるようにする。
- 年下の子と自然に関わっていけるように、仲立ちをしていく。
- 梅雨期の特性や動植物の変化について、子ども自身が気づけるよう、実物だけでなく図鑑や動画を取り上げ、話し合いの場を大切にす。
- 夏野菜の世話や観察を、毎日時間を決めてグループで行うことで、責任感をもったり、友達どうして成長に気づいたりして、収穫への期待が膨らむように進める。
- 友達どうしの思いのぶつかり合いの場面を捉え話し合いをし、互いの気持ちを考えたり、自分の思いを表す経験を重ねたりすることで、互いを受け入れて活動しようとする気持ちを育む。
- 文字や数や図形のおもしろさを感じられるような遊びを工夫し、遊びや生活のなかで、親しみながら感覚をもてるようにする。



- 室内遊びが続いても落ち着いて楽しく遊べるように、遊びのコーナーについて子どもと話し合っ決めていく。
- おやつを食べながら、異年齢児の関わり合いが楽しめるよう、必要に応じて会話をつなげていく。

いきいきタイム ※1

のびのびタイム ※2

※1 いきいきタイム…1号認定児と2号認定児がいきいきと過ごす時間
※2 のびのびタイム…延長保育の1号認定児と2号認定児がのびのびと過ごす時間

養護

- 梅雨期の衛生に配慮し、手洗いや手指消毒を呼びかける。
- 雨天時は他クラスと調整し、保育室以外の遊戯室、多目的室等を活用して遊べる環境を作る。
- 片づけの時間を事前に知らせ、見通しや切り替えができるようにする。
- がんばりを認め、励ますことで、意欲を支えていく。

食育

- 近所の農家にミニトマト狩りに出かけ、農家の人の話を聞いて野菜栽培への関心を深める。
- クッキングを楽しむ。
・米を研いで炊き上げる過程を、給食の職員と行う。
・野菜を切って肉じゃがを作る。
- 青空ランチ (おにぎり作り&おかず詰め)

家庭との連携

- 個別懇談会に向けて日程を調整し、資料に記入してもらって話題にすることで、育ちの共有を図る。【個別懇談会】
【健やかな成長を保護者と園で】
- 歯科健診の結果を配信&個別に伝え、歯の大切さを呼びかける。【保健だより】
- プールや夏の遊びについて知らせ、お願いする。

小学校との接続

- その日の活動をボードに掲示することで、見通しを立てて生活する力を育む。
- 当番活動では、グループに分かれて、他クラスの分別ゴミや洗濯するタオルを集めに回る。
- 時計作りを通して、数字や生活のなかでの時間に関心をもつ。

子どもの育ちと自己評価・保育改善のポイント

子どもの育ち

- 梅雨に入り室内で過ごす時間が多くなったが、さまざまな環境を工夫し、充実感を感じられたか。

自己評価・保育改善のポイント

- 時間 (数字) を意識した体験を重ねることで、時間の大切さや活用することへの関心、感覚をもたせられたか。

0歳児
1歳児
2歳児
3歳児
3歳児
3歳児
4歳児
4歳児
4歳児
5歳児
5歳児
5歳児